

## 新型コロナワクチン接種後の心筋炎について

現在新型コロナウイルス感染者数が急速に減少してますが、人々が日々の生活の中で感染症対策を徹底したことに加えて、ワクチン接種が進み、感染が広がりにくい状況になったこともその要因と考えられています。

厚労省によると10～20代男性の新型コロナウイルスワクチン接種における心筋炎の報告頻度が、モデルナ製ワクチンよりもファイザー製の方が低い傾向がみられたため、10～20代の男性はファイザー製ワクチンを選択できるようになりました。

ワクチン接種後に発症する心筋炎は新型コロナ感染症によるものと比較して軽症とされています。

ワクチン接種後4日程度の間には胸の痛み、動悸、息切れ、むくみなどの症状がみられた場合は、速やかに医療機関を受診し、医師の診察を受けましょう。

今後の新型コロナ感染症の見通しについては、ワクチン接種率が高い国でも若者を中心に感染者数が増加している例もあり、冬を迎え気温と湿度が下がりウイルスが広がりやすい環境になります。また、ワクチン接種後半年以上経過すると感染予防効果が下がっていくおそれもあり、今後も第6波の感染拡大に向けて注意が必要です。

これまで通り基本的な感染予防対策を続けるようにしましょう。



## 新型コロナワクチン接種後の 心筋炎・心膜炎について

ファイザー社と武田／モデルナ社の新型コロナワクチン接種後に、ごくまれに、心筋炎・心膜炎を発症した事例が報告されています。特に10代・20代の男性の2回目の接種後4日程度の間が多い傾向があります。

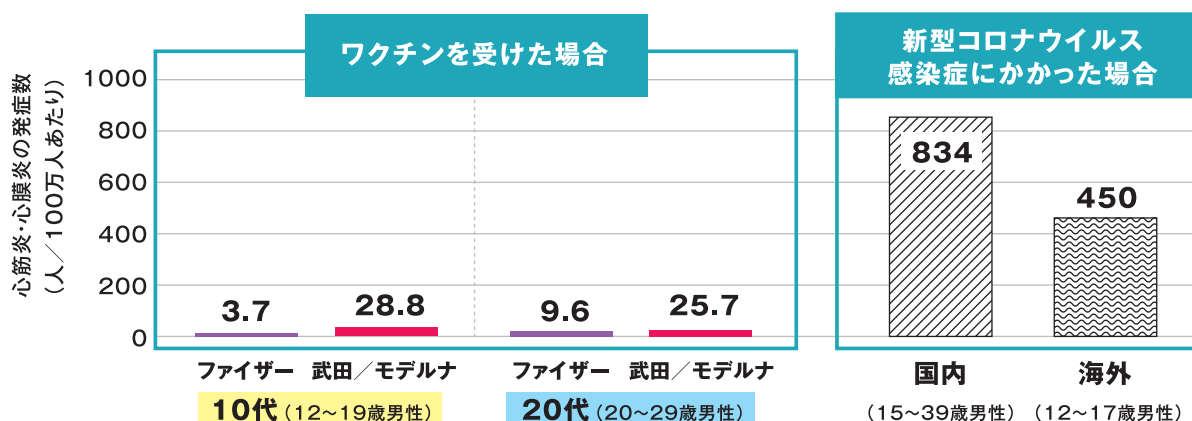
### ■ 10代・20代の男性も、引き続きワクチンの接種をご検討ください。

- 新型コロナウイルス感染症に感染した場合にも、心筋炎・心膜炎になることがあります。感染症による心筋炎・心膜炎の頻度に比べると、ワクチン接種後に心筋炎・心膜炎になる頻度は低いことがわかっています。
- 新型コロナワクチンは、発症予防効果などの接種のメリットが、副反応などのデメリットよりも大きいことを確認して、皆さまに接種をおすすめしています。しかしながら、ワクチン接種は、あくまでご本人の意思に基づき受けていただくものです。ご本人が納得した上で、接種をご判断ください。

### ■ 10代・20代の男性は、ファイザー社のワクチンの接種も選択できます。

- 10代・20代の男性では、武田／モデルナ社のワクチンより、ファイザー社のワクチンの方が、心筋炎・心膜炎が疑われた報告の頻度が低い傾向がみられました。
- 武田／モデルナ社のワクチンを予約中の方も、武田／モデルナ社のワクチンを1回目にすでに接種した方も、ファイザー社のワクチンを希望する場合は、予約を取り直していただければ、ファイザー社のワクチンを受けられます。
- なお、ご本人または保護者が希望する場合には、武田／モデルナ社のワクチンを受けることもできます。

〈 心筋炎・心膜炎が疑われた報告頻度の比較(男性) 〉



出典:第70回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会、令和3年度第19回薬事・食品衛生審議会薬事分科会医薬品等安全対策部会安全対策調査会(令和3年10月15日開催)資料

ワクチン接種後4日程度の間には胸の痛み、動悸(どうき)、息切れ、むくみなどの症状がみられた場合は、速やかに医療機関を受診して、ワクチンを受けたことを伝えてください。

- こうした症状は、心筋炎・心膜炎の典型的な症状です。ただし、そのほかの原因でもこれらの症状となることがあります。医師の診察を受けましょう。
- 心筋炎・心膜炎と診断された場合は、一般的には入院が必要となりますが、多くは安静によって自然回復します。

